

日 時	平成24年 2月 3日(金) 午後7時00分から午後9時15分まで
場 所	山ノ内町文化センター2階学習室 (住民参加者数 12人) 議員16人 事務局1人
協力団体	湯田中区 上条区
議員役割分担	<p>総括責任者 山本 良一 司会進行 高田 佳久 常任委員会等報告者</p> <p>総務常任委員会：田中 篤 社会文教常任委員会：高山 祐一 観光経済常任委員会：渡辺 正男 広報常任委員会：黒岩 浩一 議会活性化研究会：児玉 信治</p> <p>懇談テーマ説明者 議会活性化研究会：児玉 信治</p> <p>記録者 西 宗亮</p> <p>出席議員：小根澤、望月、西、田中、布施谷、高山、高田、児玉、山本(良)、 (議席順) 黒岩、徳竹、渡辺、山本(一)、小林、湯本、小淵 事務局：徳竹 彰彦</p>
次第(担当者)	<p>1. 開会宣言 司会者 2. あいさつ 主 催 者：小淵議長 共催団体：室田上条区長(湯田中区長欠席)</p> <p>3. 出席議員紹介 司会者 4. 報告事項 (1) 常任委員会等報告 総務常任委員会報告 社会文教常任委員会報告 観光経済常任委員会報告 広報常任委員会報告 議会活性化研究会報告 (2) 報告についての質疑応答</p> <p>5. 懇談、意見・提案など 6. 閉会宣言 司会者</p>

<p>主な質疑応答 意見・提言</p>	<p>< 報告事項への質疑応答 ></p> <p>Q：第5次総合計画策定に当たって、宅地 200～250 区画、農地 1.5 倍になるとされ、少子高齢化が進む中でなぜそうなるのかを以前質したことがある。この問題に関し今後の山ノ内について現議員の誰もが一般質問に取り上げていないのはなぜか。</p> <p>A：貴重なご意見として受け止め、今後に向けて伺っておく。</p> <p>Q：町税滞納問題については、山ノ内町も地方税滞納整理機構に加盟したが、その実績はあったのか。</p> <p>A：同機構へは 23 年度からの移管であり、今まで 10 数件だと記憶しているがまだ行政側からの詳しい報告は受けていない。* 現在 14 件である。</p> <p>Q：財政計画に関し、22 年度決算で公債費 16%と 19.7%と 2 通りの数字が資料にある。整合性はどうなっているのか。また、「一部事務組合」とは何であるのか。</p> <p>A：公債費と実質公債費比率は基準が異なるため整合性はありません。22 年度の歳出における公債費の割合は 16%で、実質公債費比率は 3 ヶ年の平均で 19.7%となる。また、「一部事務組合」は北衛などである。</p> <p>Q：北信総合病院再構築への山ノ内町負担金 3 億 6 千万円で過疎債 1 億 800 万円とあるが、その過疎債は今年度の充分なのか。また、過疎債はいつまで使えるのか。</p> <p>A：27 年度に残り 5 千万円が計上される。全額を過疎債として借り入れるが、その 70%が交付税でもらえる仕組みになっている。3 億 6 千万円の過疎債に対し 70%が交付税で来るので実質 30%に当たる 1 億 800 万円が持ち出しになることの説明書きである。* 過疎債は 22～27 年度の時限立法となっている。</p> <p>Q：決算監査意見資料と財政計画資料で 22 年度決算の数字が違うのはなぜか。</p> <p>A：普通会計と一般会計で若干違う。例えば、有線会計が含んでいるのと含まれない会計とである。</p> <p>Q：いづれにしても資料の整合性などがわかりにくく、資料の不備ではないか。</p> <p>A：充分参考にして今後につなげたい。</p> <p>Q：今、エネルギー問題が大きな課題となっているが、山ノ内町の方向として、これからどういう自然エネルギーを、そして、どう考えているのか。</p> <p>A：町はアンケートにより要望の多かったものから新エネルギービジョンに取り入れて、補助金制度も含めて取り組んでいる。その他実用化への可能性も含めて小水力発電、雪氷熱利用、太陽光、温泉熱利用などの検討をしている。</p> <p>Q：山ノ内町も厳しい経済情勢の中で、税滞納の現況は。また、その対策への取り組みを議会でもしっかりやって欲しいが。</p> <p>A：23 年度の滞納状況はまだ出ていないが、収納率は前年度を若干下回る見込みである。22 年度からの滞納繰越は約 7 億 7 千万円で、22 年度における不能欠損は 9 千 400 万円である。* 地方税滞納整理機構 12 月末の状況は、県下 77 市町村のうち 84.4%の 65 市町村が移管しており 994 件で引受滞納額 33 億 6,141 万 1 千円で、県の 223 件を含めると 35 億 2,091 万 5 千円であり、徴収</p>
-------------------------	--

	<p>実績は12月末現在4億3,825万6千円で12.4%である。</p> <p>Q：議員報酬は、いかに議員として仕事をしたかに対するものであると思うがいかがか。</p> <p>A：報酬問題については、議長諮問事項でもあり、議会活性化研究会で真剣に議論を交わしている。現在、色々な議論を勘案した中での今回現況報告であり更に一生懸命努力していきたい。</p> <p><懇談内容></p> <p>Q：町外から訪れたお客様も含め、昼間に会食をするにもそれなりの昼食を取るところがない。議員はこういう現状を考えないのか。</p> <p>A：大事なことであると認識している。町の実施計画の中で、農林課を主管として26年度に6次産業を含めて農家レストランを計画している。</p> <p>Q：兼職・兼業の禁止については、法律に抵触しているか否かではなく、町から補助金等を受けている団体の長との兼職はおかしいのではないか。また、議員定数については前回4年間この問題を聞いているはずであるが選挙が近くなると定数削減が決められないできたので、今回は早めに決めるべきだと思う。</p> <p>A：自治法での請負い関係も含めて抵触していないことを確認している。倫理的なことで議論を進めていくことにしている。また、議員定数の件は議長諮問の答申は24年3月末までとしている。</p> <p>Q：町は公園にドッグランは造ったがほとんど利用がなく、整備もろくにされていない。社会体育館もその後の進展がない。山ノ内の行政は造りはするが整備はしていない。宝の持ち腐れにならないよう議会として考え、監視して欲しい。</p> <p>A：貴重な要望として受け止めて、行政へ反映させるよう努める。</p> <p>Q：上林テニスコートへの1億円の事業は何か。</p> <p>A：テニスコートは合宿などの利用も結構あり、砂の入った人工芝がより自然に近いコートとして多く望まれている。合宿などをより多く誘致するためにも整備を図るものである。</p> <p>Q：噴水施設は26年度に計画されているようだが、1億円の投資は大きすぎる。大型遊具の利用者も極端に少ない。</p> <p>A：貴重なご意見として受け止めておく。</p> <p>Q：河川敷の緑地公園は現町長になってから整備されていないが。</p> <p>A：貴重なご意見として伺い、行政側に伝えたい。</p> <p>Q：現在の社会体育館は過疎債を活用して耐震強度を満たして使うようにできないのか。</p> <p>A：現在の社会体育館は危険であるということで使用停止になっている。第5次総合計画の後期基本計画では別の場所へ新規に体育館の建設が明示されており、現体育館は撤去する方向である。単に解体するだけで1億円以上を費やすのなら何かの事業と抱き合わせでできないだろうかと町は検討しているようである。</p> <p>また、2階観覧席を設けるだけの単なる体育施設であれば、おっしゃるような20億円もかからずその半分以下でできると思う。いづれにせよ、合宿等の宿</p>
--	---

	<p>泊客に対して体育施設がないに等しい現状で宿泊業者は大変苦慮していることは事実である。</p> <p>Q：農家レストランではなく道の駅を拡幅整備したほうが良いと思う。</p> <p>A：貴重なご意見ご要望として受け止めさせていただく。</p> <p>Q：今問題になっている水資源確保の観点から早急に森林売買問題等を考えるよう希望する。</p> <p>A：特に外国資本による森林売買に関して、9月議会で意見書を採択し、国へ出した。議会としても今後更に関係方面に求めていきたい。</p> <p>Q：当町唯一の産業ともいえる宿泊業を町として位置づけ、定義づけて取り組んで欲しい。役場の中に「旅館専門課」を時限的にでも考えられないか。観光連盟があることは承知しているが民間の業界団体では弱い。やはり行政としての取り組みが欲しいと思うが。</p> <p>A：宿泊業が良くなると町も良くなるということについては同感である。料金設定についても、それぞれオーナーの考えや思いもあり大変苦慮していると思う。観光連盟もあり誘客について更に取り組みや施策を町へも提言していきたい。町と業界や議員とで行政キャラバンなど努力はしている。観光は、人、物、金であると思う。当時、町の思いや考えもあり、観光連盟が創設され、行政から極端なほどの支援があるが官民の意思統一が図られていないように感じている。もう一つは、町民全体の観光客を迎える意識の高揚を図らなければならないと思う。</p> <p>Q：長野電鉄旧湯田中線の安定、存続のためにも沿線協議会で定期的に具体的テーマを持って進んで欲しい。議会や色々な会議で取り上げられるが、その後どうなったのか結果が聞こえてこない。議会として一年一年具体的な進展が見えるよう努めて欲しい。</p> <p>A：長野電鉄旧湯田中線存続を念頭に置き、交通弱者問題やトイレなどを始め駅及び駅周辺整備についても今後更に取り組んでいく。</p> <p>Q：12月議会の噴水施設に関する一般質問で答弁できない管理職があり、暫時休憩となるテイタラクがあった。議会として町に対してもっとしっかり追求して欲しい。また、当町のブランドについて観光地名だけ知名度が上がればよいというように取れる発言は観光関係以外の町民には失礼ではないかと思うので、議員は全町的な立場、考えていて欲しい。</p> <p>A：議会はもっとしっかりしろとの厳しいご意見と受け止めて更に努力をしていきたい。</p> <p>行政キャラバンの成果として、当町、当議会への視察申込みもきているので宿泊してもらうことを条件に受け入れていく。また、駅及び周辺整備等も一般質問を通して強く要請しており、春には何とか方向性が出るよう努めたい。</p>
<p>その他反省事項等</p>	<p>質疑が報告事項に対してと懇談テーマに対して、発言者がいくつものことを同時に発言してしまうことにより入り混じってしまった。一問一答方式の方がわかりやすいと感じた。</p>

*は、その後の調査、回答分。